



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第 40 号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)

☎ (0142) 74-3015

大地（ジオ）から生まれた、ものづくり～兵庫県豊岡市～



▲ 靴の自動販売機もある豊岡市内の「靴ストリート」。

9月16日～19日にアジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムが開催された、山陰海岸ジオパーク。その構成市である兵庫県豊岡市は、日本で作られる靴の約7割を占める靴生産地です。なぜ靴づくりの技術が、この町で発達したのでしょうか？

市内を流れる円山川は、河口付近で急に幅が狭くなります。約160万年前の火山の溶岩が、硬い地質となり、水の通り道を狭めているのです。そのため豊岡盆地では川の氾濫が起こりやすく、湿地ではコリヤナギが育ちました。このコリヤナギこそ、豊岡の伝統工芸である柳行李（やなぎこうり：柳を編んで作ったカゴ）の材料になるのです。

大地の成り立ちが素材を育み、冬の間の副業として多くの人が技術を磨いたこと、江戸時代に藩の産業として奨励されたことなどが、現代に続く「豊岡の靴づくり」につながっています。

抽選で
当たる！

豊岡市+洞爺湖町 オリジナルエコバックでPR！

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっとPRしたい！という思いから生まれたエコバック「大地のポケット」。洞爺湖町の風景をプリントし、豊岡市の靴職人が仕立てたオリジナルバックです。

じゃがいもなどの根菜類をいれても型くずれしにくいしっかり生地、中身が取り出しやすい横長タイプです。このバックを、来年2月まで**毎月抽選で5名の方**にプレゼントします。

ぜひ、このバックを持ち歩いて「世界ジオパークの町」のPR役になってください！

ご希望の方は、ハガキかファックス、もしくはEメールで、下記内容に回答の上ご応募下さい。11月分の締切は12月2日の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。一度当選された方は対象となりませんのでご留意下さい。



図柄は、絵本「11万のうえの一日」の一場面から、高台のじゃがいも収穫風景。

1. 応募者のお名前
2. 連絡先電話番号
3. お届け先ご住所（洞爺湖町内に限ります）
4. ジオクイズ

「道の駅あぶたから伊達市内へ向かう途中の、国道両側に点在している大きな岩々は、どこからやってきた岩？」

（下記①～③から正解と思うものの番号を記入してください）

- ① 約8,000年前、有珠山がくずれて転がってきた岩
- ② 約10,000年前、羊蹄山の噴火で降ってきた噴石
- ③ 1640年の駒ヶ岳噴火で起こった津波で押し寄せた岩

10月号のジオクイズ 答え
 「有珠山はどうやってできた山？」
 →「約2万年前から、噴火をくり返してできた山」でした。

～ 応募先 ～
〒049-5692

洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課
 ※ファックスの方は Fax 76-4727 まで
 ※Eメールの方は info@toya-usu-geopark.org まで